

69日ぶり奇跡の生還



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271
Copyright (c) 2010
Yamagata Shimbun

2010年
10月13日
〈水曜日〉

電子
速報版

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

山形落盤事故
チリ鉱山

地下700メートルから

カプセルで作業員救出開始

【コピアボ共同＝名波正晴】チリ北部コピアボ郊外で起きたサンホセ鉱山の落盤事故で、地下約700メートルに閉じ込められた作業員33人のうち最初の1人が13日未明（日本時間同日午後）、救出用カプセル「フエニックス（不死鳥）」で地上に引き上げられ、生還した。8月5日に落盤事故が発生してから69日ぶり。前例のない「奇跡の救出」作戦は世界の注目を集めた。

チリのピニエラ大統領が立ち会うなど、国家の威信を懸けての救出作戦となった。

態に置かれた作業員の心のケアなどが今後の課題となる。

作業員は順次、大型重機を使って次々と引き上げられ、作戦開始から48時間以内に全員を救出できる見通し。

8月22日に全員の無事が確認されてから、救出用縦穴3本の掘削が進められてきたが、

長期間、地下の極限状況

今月9日、うち1本が地下の坑道まで貫通。当初4カ月かかる

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

れた救出時期は、急ピッチの作業で大幅に早まった。

チリ鉱山落盤事故
チリ北部コピアボ郊外のサンホセ鉱山で8月5日、落盤事故が発生。地下約700メートルに閉じ込められた作業員33人は当初、2日おきに小さじ2杯分のマグロの缶詰などを食べて生き延びた。8月22日、地中捜索のためのドリルを引き上げたところ、先端にメッセージが結び付けられていたのが見つかり、生存を確認。チリ政府は食料などを地下に送るとともに、救出用縦穴3本の掘削を進めた。10月9日、うち1本が地下の坑道まで貫通し、作業員をカプセルで引き上げる救出作戦を実施。（共同）

13日、チリ北部コピアボ郊外の鉱山落盤事故で、地下から救出された最初の作業員（中央）のビデオ映像
（AP＝共同）

